

## 会 議 録

会議の名称	桶川市立朝日小学校 第5回学校運営協議会	
開催日時	令和4年3月3日(木)	
開催場所	桶川市立朝日小学校 研修室	
資料を送付した方氏名(委員)	委員 ・新井 隆喜委員 ・横田 邦彦委員 ・吉野 礼子委員 ・熊井 道明委員 ・大下 明文委員 ・西 真琴委員 ・関口 智大委員 ・堤 孝志委員(教頭) ・田近 光博委員(教務主任) 校長 ・内田 則子	
欠席者氏名(委員)	なし	
傍聴者	1名 折原 和彦 様	
議題等	(1) 第4回会議録の確認 (2) 第4回会議録への質疑と承認 (3) 卒業を祝う会見学(児童・教職員の様子) ※ICT教育の実際 (4) 意見交換 ① ICT教育 ② 小中連携 ③ 令和3年度 学校評価 ④ 令和4年度 年間行事計画	
協 議 等 要 旨	協議結果	意見の概要
	(1) 確認 (2) 承認	・質疑については特になし。
	(3) 卒業を祝う会見学 (児童・教職員の様子) ※ ICT教育の実際	・卒業を祝う会で、児童は楽しそうに表現していた。 ・全体で見合うことはできなかったが、一人一人の様子を細かく見ることができた。
	(4) 意見交換等 ① ICT教育 (オンライン学習の実施状況等) ○学級閉鎖時のオンライン学習の方法等 ○卒業を祝う会におけるICT機器活用のよさ ○音楽朝会後の保護者動画視聴の方法	・オンライン学習の効果・学習差ほどの程度あるのか。 →教科により差があり、体験的な学習には向かないこと。ただしコロナ禍で、リコーダー等、集団でできないものが実施可能である良さがあること。 →文部科学省からのオンライン学習のガイドラインに則って、指導をしていること。 →対面学習の方が体験もでき良い方法ではあるが、今後はICT機器の利点も活用しながら、ハイブリッド式で行っていくこと。 →Wi-Fiの設置率は、本校家庭では100%であること。
	②小中連携	○コロナ禍であり、小中連携の実践がうまくできていないこと。 ○今年度は、小中連絡会が予定されていること。 ○特別支援学級合同学習会のような実践が、桶川中学校とできれば良いこと。 ・コロナ禍の中で昨年度卒業した中1の生徒が、桶川中学校でどのように過ごしているのか。 →現状、特別な情報は耳にしていないが、生徒の気持ちの中で何らかの影響があることが予想されること。
③学校評価 ○教職員学校評価まとめ ○学校評価まとめ(保護者) 〃 (学校運営協議委員) ○学校生活アンケート	○今年度は、ゲーグルームを活用して実施したこと。 ○新体力テストの本校の課題は、投力・握力であり、その解決に向け、握力コーナーを設置するクラスがあるなど、それぞれが工夫していること。 ・時間外時間80時間以上の勤務者が減っていることは、学校の取組としての成果であること。	
④令和4年度 年間行事計画	○学校評価を受けて、来年度の経営方針を決定していくこと。(改善のための方策を年間行事計画に反映してあること、あいさつが本校の課題であること、デジタル計算ドリル導入を予定していること。 ・デジタル計算ドリルの活用は、今の時代にマッチしていて、過去の問題にも遡れる良さがあること。	
配付資料	(1) 第4回会議録 (2) 令和3年度 第2学期教職員学校評価まとめ (3) 令和3年度 学校評価まとめ(保護者・学校運営協議委員) (4) 学校生活アンケート(児童) (5) 令和3年度 学校評価結果報告書 (6) 令和4年度 学校運営協議会委員候補者の推薦について (7) 学校だより12～3月号	